

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらスタ・ティーンズ丸亀教室		
○保護者評価実施期間	2025年3月8日		2025年4月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	2025年3月8日		2025年4月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年9月12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	⑥⑦⑩モニタリングで得た、本人や保護者からの要望を参考にしながら毎日様々な内容のプログラムが提供できている。 また職場体験や面接練習・先輩方に話を聞くなど、ライフイベントに沿った準備ができるよう配慮している。	プログラムがマンネリ化しないようにしている。 利用者の年齢や特性に合わせてプログラムを個別に実施できるようにしている。 面接練習は中3以上の全利用者から希望をとり、進路にあった内容を実施している。	自立サポート加算対象の利用者向けに職場体験ワークシートを新たに作成し運用する。 こども食堂と連携したイベントプログラムを夏休み2回、冬休み1回、春休み1回実施する。
2	②③④⑤HUGでの活動記録、ブログの更新、みらスタ☆通信の発行など様々な媒体を通じて、保護者の方・地域の方々に活動概要や行事予定などの情報が発信できている。	活動記録、ブログの更新、みらスタ☆通信は公開日・回数などを決めて定期的に行っている。 来所時に手軽に持ち帰れるよう入り口に配置している。 活動記録とブログは必ず写真を掲載し、利用者の様子が分かるように具体的な表現をしている。	インスタグラムにもブログを掲載して、より多くの人へ発信する。 名簿を活用して、保護者へみらスタ☆通信をもれなく配布する。 HUGアプリの使用を推進して、活動記録をより多くの保護者の方に読んでもらう。
3	⑫⑬個別支援計画や契約時の説明を丁寧に行い、共感的に支援することができている。	契約時の説明手順はマニュアルを作成し、全員に共通の説明ができるようにしている。 保護者へのLINE連絡は迅速に行っている。 計画説明時には直接保護者から話を聴き、傾聴・受容・共感を心掛けている。	送迎時には保護者と積極的に情報交換をして、信頼関係を深める。 LINE対応のシミュレーションをしたり、保護者対応のロールプレイングをしたりして、傾聴・コミュニケーション力を育成する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	⑪丸亀城に遊びに行った際にその場にいたみらスタ☆利用以外の放課後児童サービスの利用者さんや地域中の子供たちとの交流はあるが、定期的な交流がない。	みらスタ☆展覧会が一般向けに公開されていない。 プログラムで交流の場を設けていない(計画できていない)。 公園で別で来ていることも遊ぶ時には安全管理の面で一緒に遊んでよいかどうか分からない。	丸高斯文祭に行くプログラムを計画する。 市のイベントに足を運ぶ。(市民広場・マルタス・商店街) みらスタ☆展覧会の開催場所をみらスタ☆丸亀・北教室、コープ、マルタスで検討する。
2	⑭年1回保護者会を開いているが、兄弟への支援や保護者同士の交流の機会を設けるなど、家族支援がまだまだ充実されていない。	保護者会の日程調整が難しい。年1回しかしていない。 保護者会の内容がマンネリ化しつつある。 兄弟支援、家族支援の手法が分からない。	保護者会を10月もしくは11月で開催する。2回開催も検討する。 家族支援のために保護者向けセミナーを企画する。
3	①③人数や内容によっては教室に十分なスペースを用意できなかつたり、バリアフリー化がまだまだ進んでいない。	中高生の棲み分けができていない。 机があるために自由に活動に制限がある。	プログラム内容(全員で運動など)によって外部の施設を利用したり、外出したりする。 グループに分かれて体を動かすようなプログラムを計画する。